

2023年3月期決算説明会資料



SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

株式会社サンマルクホールディングス

2023年5月23日

証券コード

3 3 9 5



2023年3月期 決算ハイライト

➤売上高・・21.2%増収

- ・店舗あたり売上はコロナ前約88%水準

➤営業利益2.3億円、経常利益16億円

- ・トップラインの売上回復に加え、原材料・エネルギー価格の高騰を販売管理費の削減により吸収
- ・感染拡大協力金は、10億円（前期比▲51億円）

➤特別損失17億円計上、当期純利益は4.1億円

- ・不採算店舗、ならびに閉店の意思決定を行った店舗（89店舗）を減損処理（14.2億円）
- ・店舗等の設備除却費用（2億円）
- ・繰延税金資産の回収可能性見直しにより、繰延税金資産8.6億円を計上（益方向）



2023年3月期 決算概要

コロナ禍の影響が下期、特に4Q以降に回復し、想定以上の売上高となった、
一方、原材料・エネルギー価格の高騰を販売管理費の削減により吸収し営業黒字化を達成

- ✓ 前年同期比21.2%増収、原価率0.8ポイントUPを販管費削減により吸収
- ✓ 営業短縮・休業協力金収入、前期比で51億円減少し経常利益は減益
- ✓ 店舗等の減損損失、ならびに繰延税金資産を計上し、当期純利益4億円

(単位：百万円)

	2022年 3月期	売上比 (%)	2023年 3月期	売上比 (%)	増減	増減 (%)	修正予想 (11/11発表)	計画差
売上高	47,721	100.0	57,831	100.0	10,110	21.2	56,000	1,831
売上原価	10,725	22.5	13,465	23.3	2,740	25.5	—	—
販売費及び 一般管理費	40,574	85.0	44,126	76.3	3,552	8.8	—	—
営業利益	△3,578	—	239	0.4	3,817	—	0	239
経常利益	2,472	—	1,596	2.8	△876	△35.4	1,300	296
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△4,711	—	416	0.7	5,127	—	700	△284



SAINTMARC HOLDINGS CO., LTD.

2023年3月期 事業別・種類別決算概要

(単位：百万円)

事業別

種類別

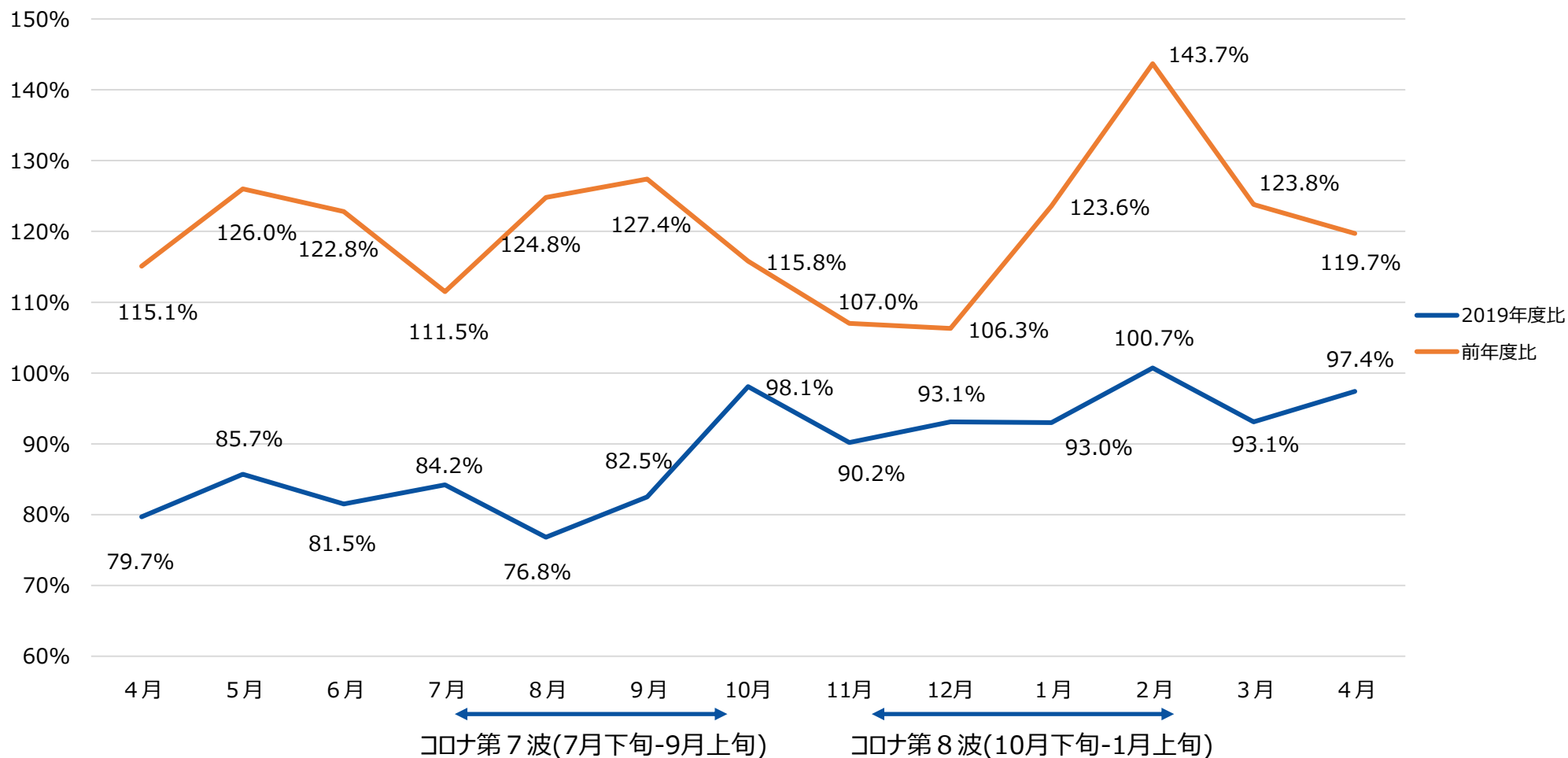
	2022年 3月期	売上比 (%)	2023年 3月期	売上比 (%)	増減	直営店 売上	ロイヤリティ 収入	FC関連等 売上
売上高	47,721	100.0	57,831	100.0	+10,067	56,693	126	1,011
レストラン	26,494	55.5	33,377	57.7	+6,883	32,655	89	632
喫茶	21,226	44.5	24,453	42.3	+3,227	24,038	36	378
セグメント損益	△2,255	－	1,712	－	+3,967			
レストラン	△990	－	1,441	－	+2,431			
喫茶	△1,265	－	271	－	+1,536			

※2023年3月期第2四半期より、実験業態に係る事業のセグメント区分を、「その他」から「レストラン事業」へ変更。



既存店売上高推移

SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

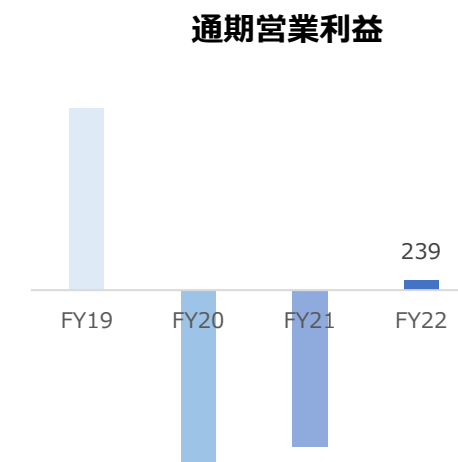
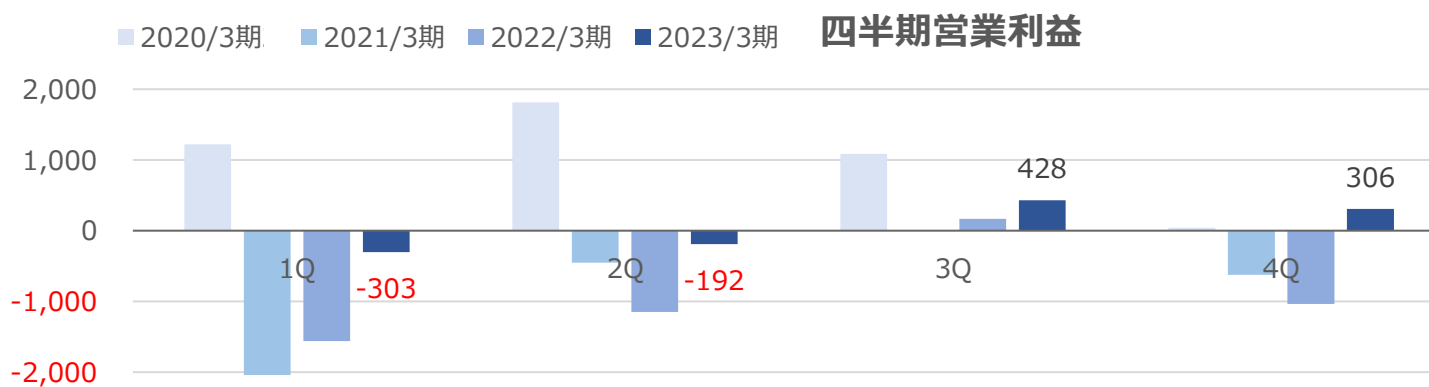
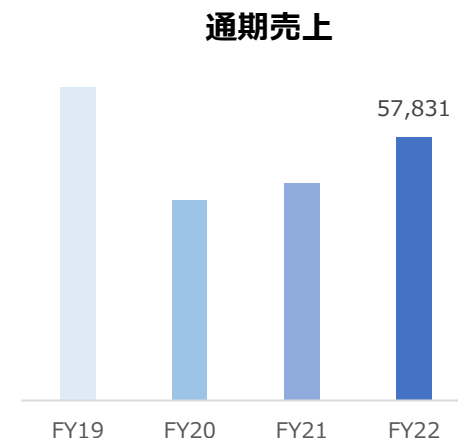
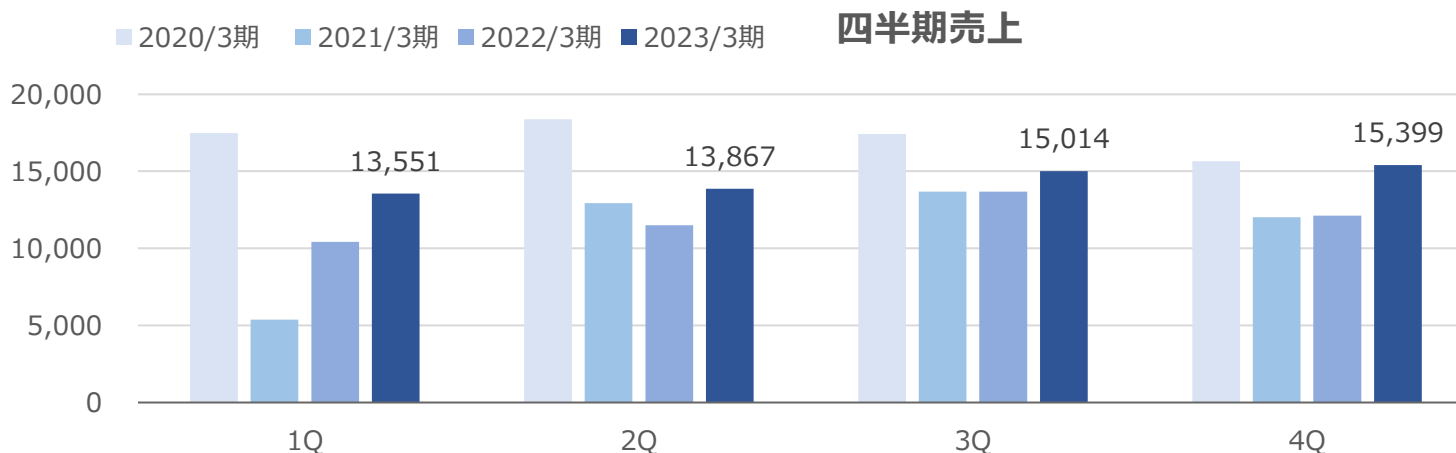




SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

四半期売上高・営業利益推移

(単位：百万円)

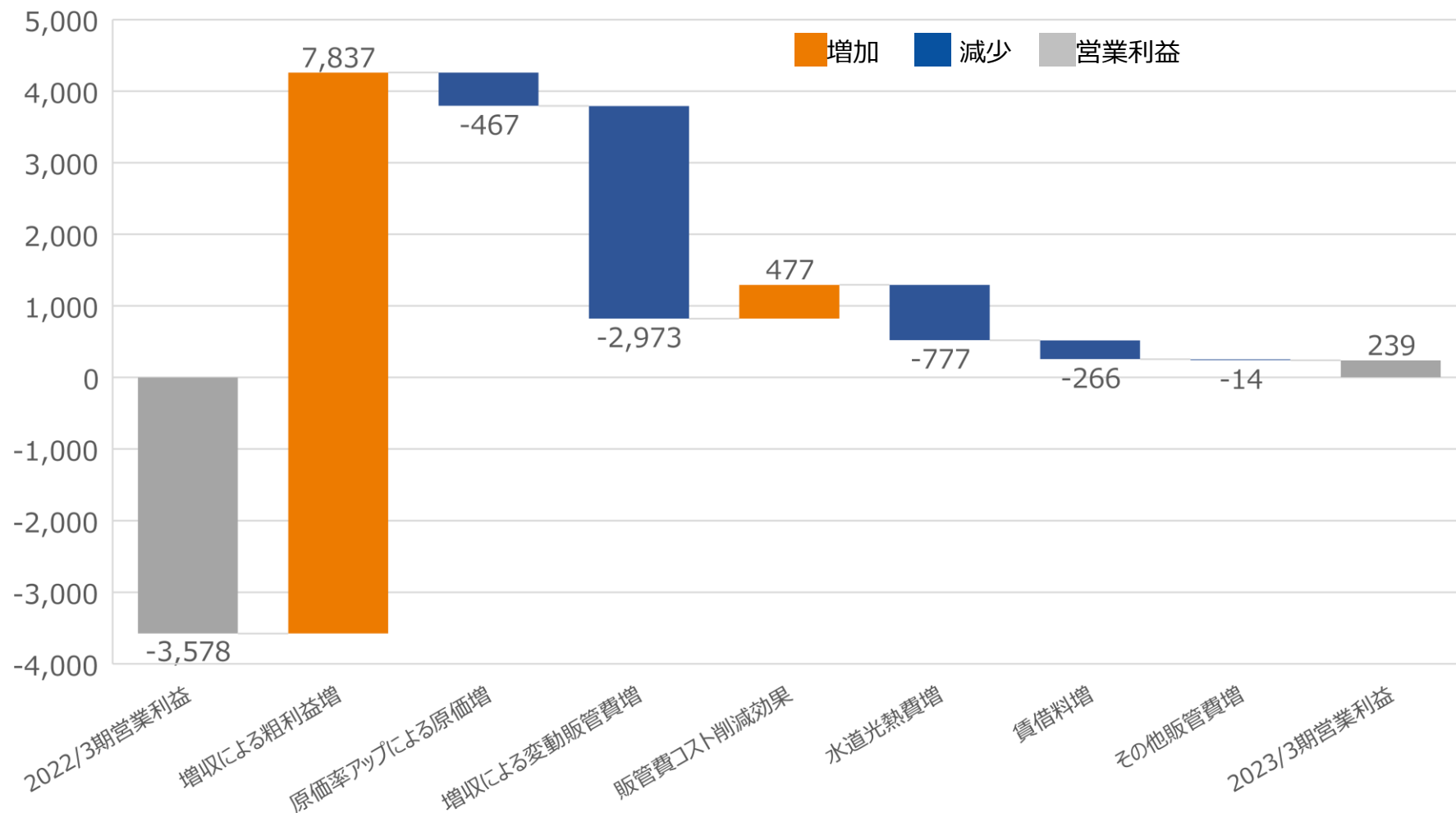




営業利益の増減要因

SAINTMARC HOLDINGS CO., LTD.

営業利益の増減要因





SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

バランス・シートの状況

- 現預金157億円、自己資本比率62.2%

資産の部				負債・純資産の部				(単位：百万円)
	2023年3月末	前期末増減	主要因		2023年3月末	前期末増減	主要因	
流動資産	20,838	1,123		流動負債	6,915	1,264		
現預金	15,734	94		買掛金	2,155	440		
売掛金	4,397	887		未払金	3,155	639		
固定資産	27,966	△340		固定負債	11,537	315		
有形固定資産	15,927	△991	店舗資産の減損	社債	6,036	△11		
無形固定資産	117	△23		資産除去債務	4,742	294		
投資その他の資産	11,922	674		負債合計	18,453	1,580		
資産合計	48,804	783		純資産	30,350	△797		
				負債純資産合計	48,804	783		



キャッシュ・フローの状況

SAINTMARC HOLDINGS CO., LTD.

- 営業キャッシュ・フローはプラスとなり、フリーキャッシュフローもプラス
- 財務活動によるキャッシュ・フローについては、配当金並びに自己株式取得が主

(単位：百万円)	2022年3月期	2023年3月期	増減	主な要因
現金及び現金同等物の期首残高	15,015	15,640	+ 625	
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,587	3,513	△2,074	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△990	△2,151	△1,161	・有形固定資産の取得による支出
フリーキャッシュ・フロー (営業活動+投資活動キャッシュフロー)	4,597	1,362	△3,235	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,972	△1,268	+2,704	・配当金支払 ・自己株式取得
現金及び現金同等物の期末残高	15,640	15,734	+94	



出退店の状況：出店25～35、退店70～90

- 2024年3月期の新規出店は25～35店舗、退店は70～90店舗を想定
- 引き続き不採算店舗の業態変更や退店を進める

業態	2022年3月期 期末店舗数	出店数	退店数	2023年3月期 期末店舗数
サンマルク	60	2	15	47
サンマルクカフェ	354	6	27	333
函館市場	9	0	0	9
バケット	91	0	14	77
鎌倉パスタ	199	7	11	195
サンマルクグリル	58	12	5	65
倉式珈琲	63	1	2	62
実験業態	5	0	0	5
グループ合計	839	28	74	793

※直営769店舗、FC24店舗



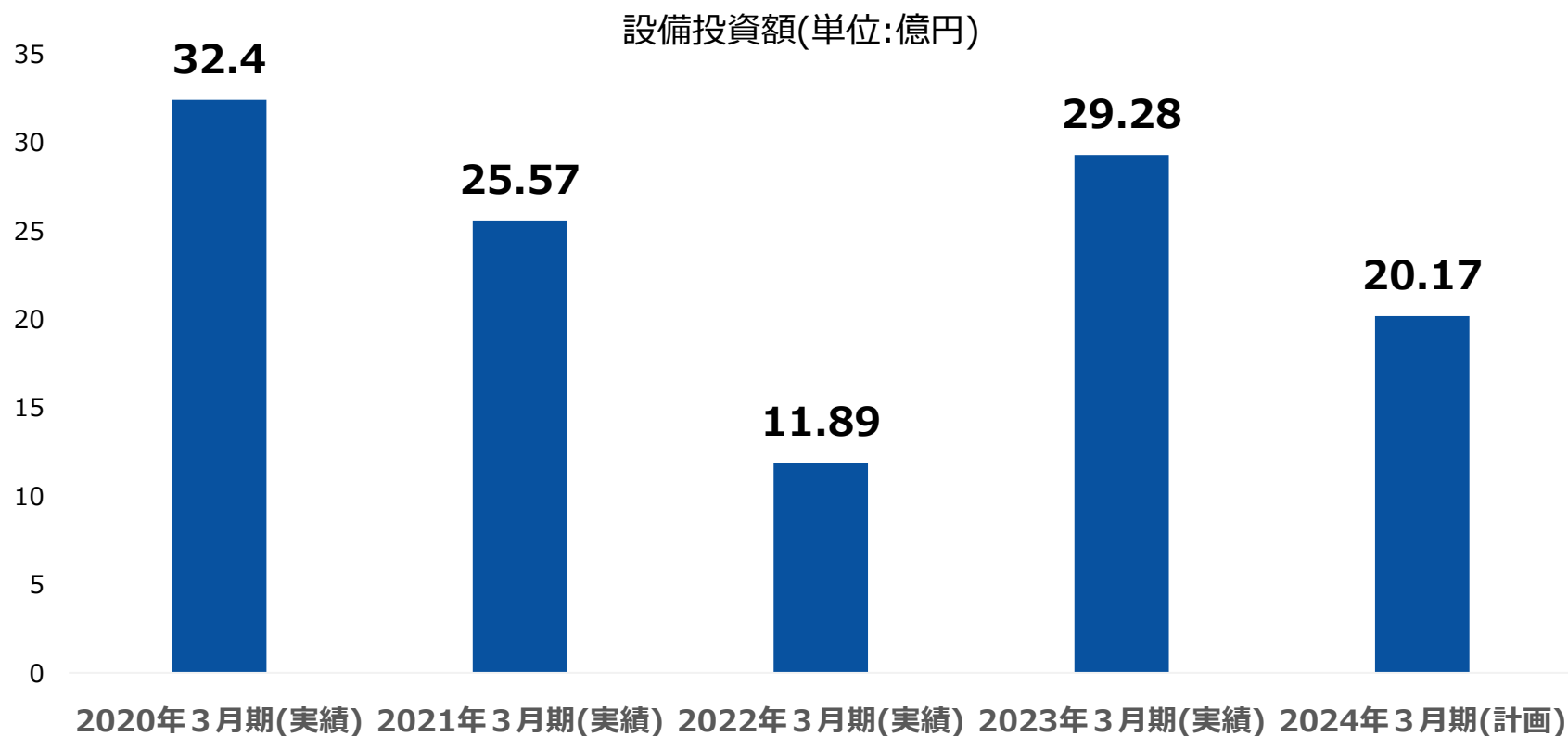
設備投資・減価償却費：実績と計画

2023年3月期通期(実績)

設備投資：2,928百万円 減価償却費：2,254百万円

2024年3月期通期(計画)

設備投資：2,017百万円 減価償却費：2,209百万円 出店想定：25～35店舗



2024年3月期見通し



2024年3月期 通期見通し

- ・ 既存店はコロナ前比90～95%での計画
- ・ 原価率は前期より0.2%程度悪化する想定

単位：百万円	2023年3月期 (実績)	上半期 (実績)	下半期 (実績)	2024年3月期 (計画)	上半期 (計画)	下半期 (計画)
売上高	57,831	27,418	30,413	59,000	29,000	30,000
営業利益	239	△495	734	1,500	520	980
経常利益	1,596	715	881	1,500	520	980
親会社株主 帰属 当期純利益	416	392	24	500	170	330

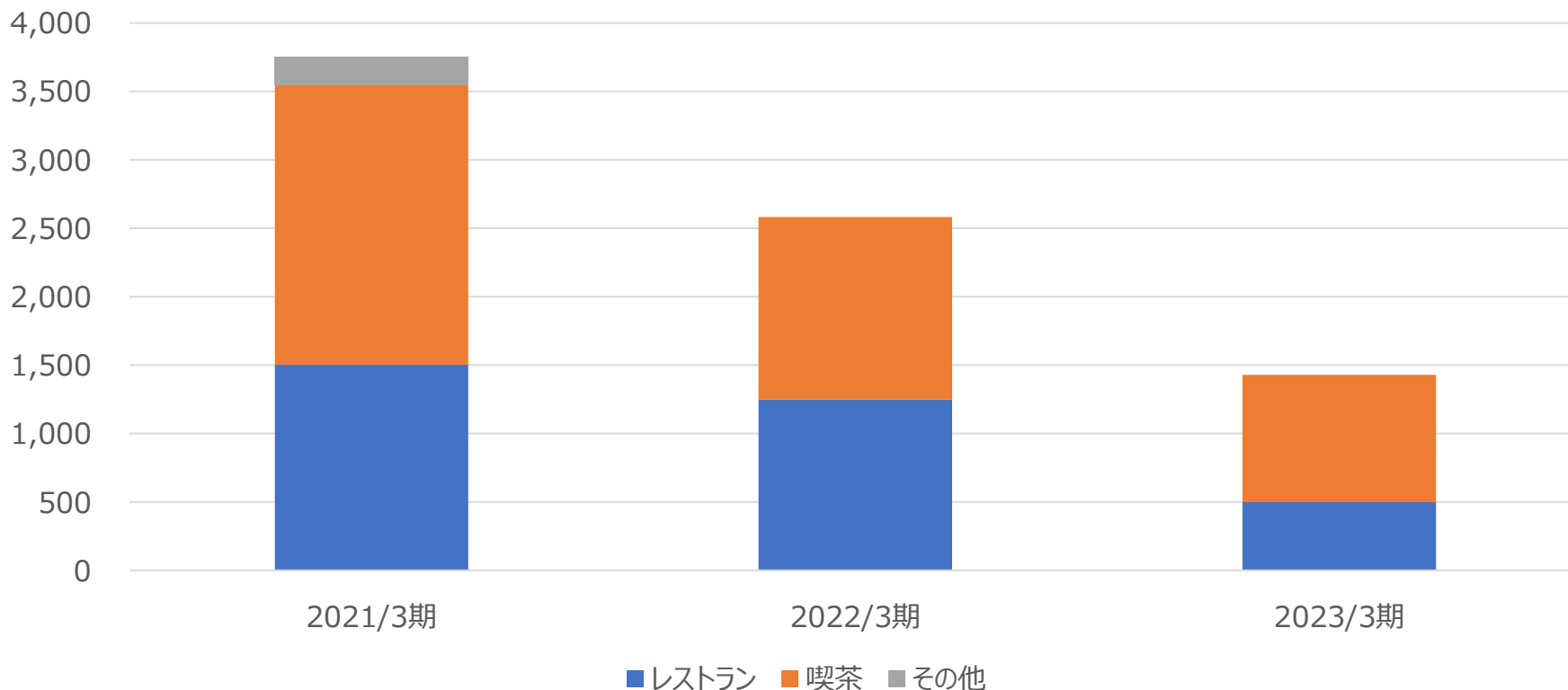


収益性を重視した戦略的店舗閉店を実施

- ・ アfterコロナを見据えた戦略的店舗閉店74店を実施、進行期も同様の閉店を継続
- ・ 減損済みのため、新たな損失は限定的、来期以降の出店攻勢に向けた戦略
- ・ 人員については、既存店へシフト

固定資産の減損損失の状況

単位：百万円





中期出退店計画：アフターコロナを見据えた戦略的店舗閉店により見直し予定

【現在の中期経営計画】2026年3月期：950店（2021年3月期比＋110％）

→今期の戦略的店舗閉店の推移を見極めたうえで、見直し予定

		実績	中期経営計画（2022年3月期～2026年3月期）	
		2021年3月期	2022年3月期～2026年3月期	ポイント
レストラン事業	鎌倉パスタ	201	出店105～120店 退店25～40店 程度を想定	レストラン事業： 中計期間中は鎌倉 パスタ、サンマルクグリル事業 を中心に出店を伸ばす
	バケット	94		
	サンマルク	59		
	サンマルクグリル	35		
	函館市場	12		
	HD（実験業態）＊	25		
喫茶事業	サンマルクカフェ	374	出店75～90店 退店90～105店 程度を想定	喫茶事業： 出店精度向上に伴い不採 算店舗の閉店、採算立地 への出店により店舗ポート フォリオの改善を実施
	倉式珈琲	64		
合計		864	860～950	

＊中華業態については2021年4月1日付でサンマルクグリルに吸収合併

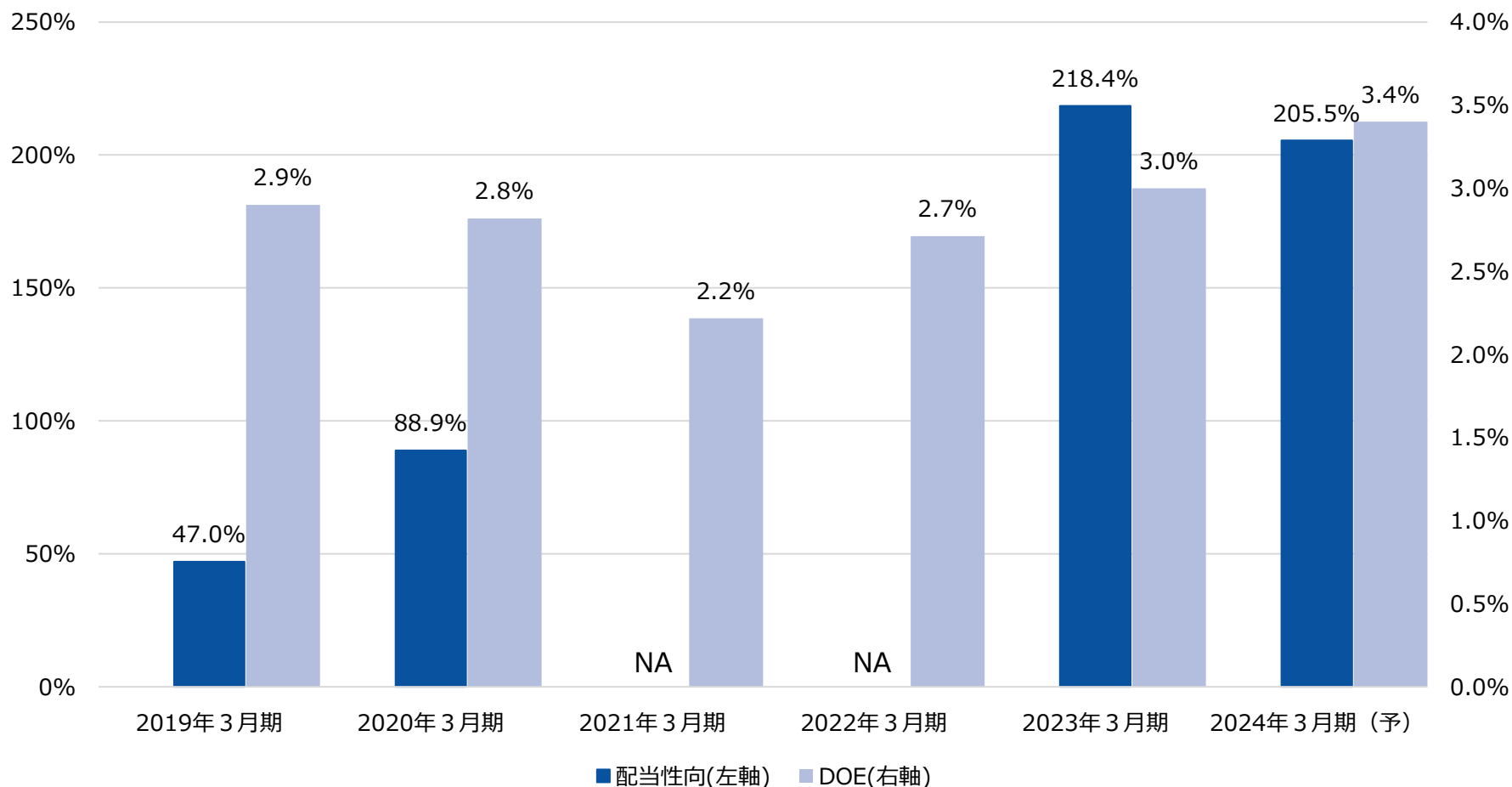
株主還元



配当：通期配当44円を予定 進行期は50円へ増配予定

- 2024年3月期：6円増配の通期配当50円(中間25円+期末25円)を予定
- 配当額決定にあたり中長期的観点から配当安定性確保のためDOE(純資産配当率)を考慮

配当性向・DOE推移





自己株式取得について (2023/5/12リリース)

【目的】

資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化などに対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため実施。

【概要】

取得株式数：普通株式 200,000株(上限)

取得価額総額：450,000,000円(上限)

期間：2023年5月15日～2023年6月30日

方法：東京証券取引所における市場買付

【自己株式取得に対する当社の考え方】

最適な現預金水準にコントロールしていくにあたり、株主還元にもつながる有効な一つの手段。

2023年3月期 下期トピック

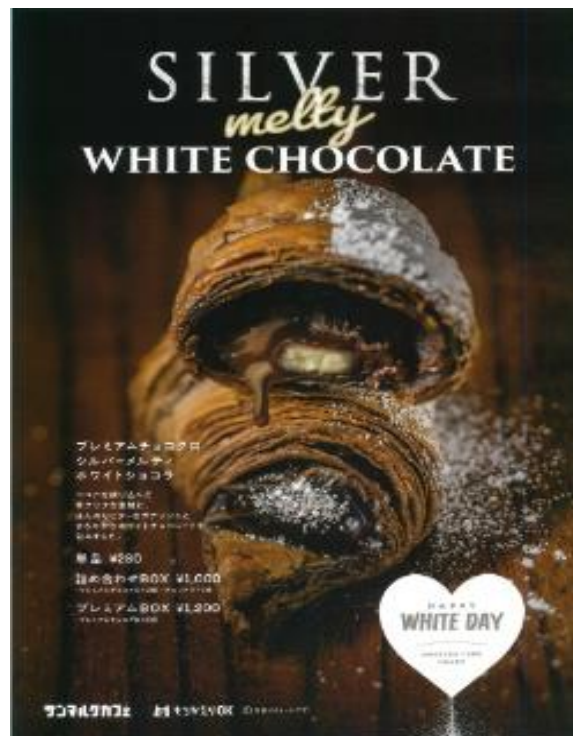


SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

「サンマルクカフェ」季節商品の売上好調



今期から注力している季節商品のプロモーションが好調で同カテゴリで最高売上更新





SAINTMARC HOLDINGS CO., LTD.

「鎌倉パスタ」ごえんプロジェクト



出店に際し、地元産食材や建材を使用し地域密着型の店舗作り

マルート富山店(2022/12/1オープン)



ごえん project

鎌倉パスタ
ごえんプロジェクト
はじまりました。

こんにちは、鎌倉パスタです。
おかげさまで当社は全国で182店舗を展開しています。
これもひとえに、お客様お一人おひとりとのご縁、
出店している地域とのご縁あつてのこと。

感謝の気持ちとこれからもよろしくの気持ちを込めて、
鎌倉パスタでは「ごえんプロジェクト」を実施しております。

こちらの、マルート富山店では、店内装飾に富山県産の
杉材を一部使用しており、また、照明シェードには、
地元伝統工芸の技術を取り入れております。

これからも、地元の食材を始め、全国のご当地名物との
コラボ商品をシェアするなど、「ごえん」がらみの企画を
展開してまいります。

それでは、鎌倉パスタマルート富山店で「いい時」を
お過ごしくださいませ。

※2022年11月現在



富山の県産材を使用したルーバー
(木材の一本一本に、県産材の
焼印をしています)



「越中福岡の菅笠」の
工法を用いた照明シェード





SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

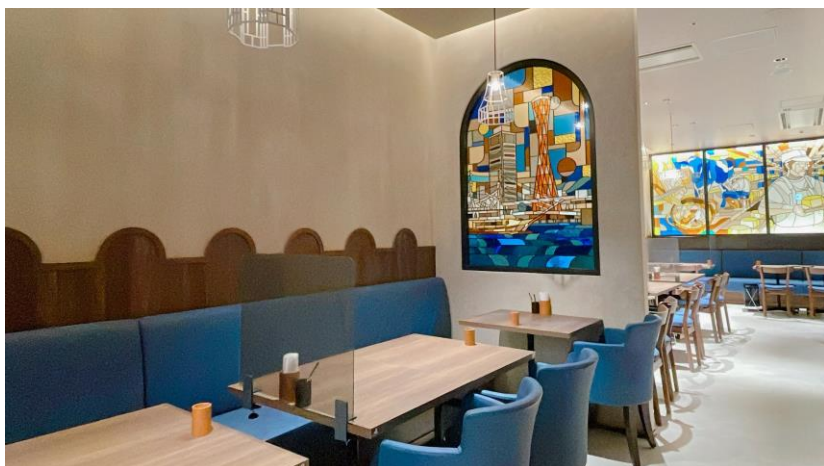
「サンマルクグリル」出店の強化継続

元町元町ドリア
神戸
元町ドリア
Kobe Motomachi Doria

特にドリア業態の引き合い強く、前期の12店舗出店に続いて進行期も引き続き12店舗(うち、ドリア業態10店舗)の出店予定



横濱元町ドリア アルカキット錦糸町店(2023/3/27オープン)



神戸元町ドリア あべのハルカスダイニング店(2023/3/31オープン)



台湾小籠包 ソラリアプラザ店(2023/3/22オープン)



SAINTMARC HOLDINGS CO., LTD.

「バケット」ブランドの革新



2022年7月1日付の吸収合併以降、不採算店舗の閉店を進めるとともに、パンのテイクアウトを備えた業態であるパントリエの展開、ディナー向けセットメニューの充実といった施策により、業績回復基調



パントリエ イオンレイクタウンkaze店(2023/3/31オープン)

夜 バケセット ¥1,490~
パン + 前菜 + メイン

全品パン食べ放題付き

1. お好きな前菜をひとつお選びください

コーンたっぷり コンソープ	ベーコンの シーザーサラダ	チキンとカシューナッツの マスタード風味サラダ	高し糖とグリル野菜の トマトソース

2. お好きなメインディッシュをひとつお選びください

若鶏とグリル野菜 マスタード風味ソース ¥1,490 (税込¥1,639)	グリルチキンの トマトクリームファンデュ ¥1,490 (税込¥1,639)	和風ハンバーグステーキ ジャポネソース ¥1,590 (税込¥1,749)	とろけるたまごチーズの カルボナーラ風グラタン ¥1,590 (税込¥1,749)
白身魚のグリル 和風バターソース ¥1,590 (税込¥1,749)	煮込みハンバーグ トマトソース ¥1,690 (税込¥1,859)	チーズフォンデュ風 ハンバーグ ¥1,790 (税込¥1,969)	ハンギング チンダースステーキ (130g) ¥2,190 (税込¥2,409)



M&Aによる新規事業の獲得(株式会社La Madrague)

2022年12月26日、当社と株式会社La Madrague(以下、「マドラグ」)間にて株式譲渡契約書を締結し、マドラグの株式を当社が100%取得、子会社化。

当社が培ってきたチェーン展開ノウハウや経営資源と、高いブランド力を有するマドラグが融合することにより、更なる事業拡大を目指す。

【株式会社La Madrague概要】

- ・ 本社所在地 京都府京都市
- ・ 代表者 山崎 三四郎裕崇
- ・ 創業 2017年6月
- ・ 店舗数 5店舗(社員食堂1店舗を含む)

【特徴】

レトロ喫茶系メニューを中心にコロナの玉子サンドやアローン式オムライス等、後継者不在で廃業した京都の有名店メニューを承継。





サステナビリティ委員会の設置について(2023/3/16リリース)

【目的】

社会問題の解決による持続可能な社会の実現と、当社グループの中長期的な企業価値向上の両立に向けて、サステナビリティ施策の推進を図る。

【役割】

下記事項を審議するとともに、定期的に取り締役会に報告・提言を実施。

- ① 基本方針、戦略及び計画の策定・改訂
- ② 重要課題の特定
- ③ 目標とすべき指標の設定・見直し
- ④ 取組状況のモニタリング
- ⑤ 推進体制・情報開示に関する事項
- ⑥ その他重要な事項

【構成】

代表取締役を委員長とし、社内取締役、社外取締役、その他代表取締役社長が必要と認めた者。



従業員向け譲渡制限付株式制度の導入について(2023/5/19リリース)

【目的】

当社および当社子会社の従業員が、当社グループの企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与するとともに、株主の皆さまとの一層の価値共有を進めること。

【制度概要】

(1) 対象者

一定の条件を満たす当社および当社子会社の従業員であって、譲渡制限付株式の割当てを決定する時点において、譲渡制限付株式の割当てを希望する従業員を予定。

(2) 割当株式数

本制度に基づき従業員等に割り当てる当社普通株式の総数は、希薄化率を考慮した株数とする予定とし、従業員等にとって特に有利な価格に該当しない金額とする。

(3) その他

譲渡制限付株式の割当てに関するその他の具体的内容については、当社取締役会において決定。

(ご参考)当社概要について・SDG s への主な取り組み



SAINTMARC HOLDINGS CO., LTD.

当社概要：業態開発の歴史

喫茶事業

サンマルクカフェ（1999年）
セルフ喫茶

2006年
持株会社制導入

倉式珈琲店（2008年）
フルサービス喫茶

レストラン事業

レストランサンマルク（1989年）
本格ベーカリーレストラン

函館市場（1999年）
グルメ回転寿司

石焼炒飯店（2006年）
広東炒飯専門店

元町ドリア（2007年）
ドリア専門店

バケット（2002年）
ベーカリーレストラン

鎌倉パスタ（2004年）
生パスタ専門店

現在

経営方針：「顧客の未だ気付かぬ新たな満足を創造する」

成熟したマーケットに当社独自の付加価値をつけて参入



We Create the Prime Time For You

私たちはお客様にとって最高のひとときを創造します

私たちは食事売るのではなく、「最高のひととき」を売る会社です
「美味しかった」ではなく、「楽しかった」と言われるお店を目指し
日々励んでおります



SAINTMARC HOLDINGS CO., LTD.

サプライチェーンにおけるSDGsへの主な取り組み

調達

1 貧困をなくそう



東ティモールにて人権に配慮して生産されるコーヒー豆の一部使用

15 陸の豊かさも守ろう



プラント野菜の導入により、労働負荷の軽減、水資源の節減に貢献

12 つくる責任 つかう責任



メーカー発送のリードタイム短縮や品質保持技術の向上による賞味期限の長期化によりフードロス削減

13 気候変動に具体的な対策を



店舗への配送頻度を週6日配送に減らすことや納品時の保冷剤をドライアイスから蓄冷剤に切り替えることにより二酸化炭素の排出量を削減

13 気候変動に具体的な対策を



店舗での厨房機器をオール電化とすることでガス機器比で二酸化炭素の排出を抑制

12 つくる責任 つかう責任



賞味期限間近になったものの割引販売、セット販売を行いフードロス削減
プラスチック製品を紙素材、生分解性プラスチック製品へ切り替え

物流

製造

販売





免責事項 + 問い合わせ先

本資料は当社グループに関する情報提供を目的としており、当社の発行する有価証券への投資の勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている計画や予測等の将来情報については、現時点における当社の判断であり、外部環境の変化等により実際の結果と大きく異なる場合がございます。

＜IRに関するお問い合わせ先＞

株式会社サンマルクホールディングス

管理本部 IR担当

e-mail : ir@saint-marc-hd.com

電話 : 086-246-0309